

9 章 1-3 節 「真理(真実)を私はキリストにあつて語ります。偽りません。私の良心(conscience)も、聖霊のうちにあつてともに証しています。それは、私には大きな悲しみがあり、この心には絶えることのない痛みがあるということです。もしできるなら、この私がキリストから引き離されて、のろわれた(アナテマ)者となることさえ願っています、私の兄弟たち、肉による同胞のためになら」

9 章 4, 5 節 「この人たちはイスラエル人です。息子とされること(sonship)も、栄光も、契約も、律法を与えられることも、礼拝も、約束も彼らのものです。父祖たちも彼らのものです。キリストも、肉によれば彼らからのものです。この方は万物の上にあるものであり、永遠にほめたたえられる神。アーメン」

9 章 6-9 節 「しかし、神のことばが無効になったというわけではありません。それは、イスラエルから出る者すべてが、イスラエルであるというわけではないからです。それはアブラハムの子孫(seed:種)であるからといってすべてが子ども(テクナ)なのではなく、むしろ『イサクにあつて、あなたの子孫(seed:種)がその名を呼ばれる』からです。それは、肉の子どもである者がそのまま神の子どもではなく、むしろ、約束の子どもである者が子孫(seed:種)と見なされる(認められる)からです。それは約束のことばとは、『来年の今ごろわたしは来ます。そのときサラには息子がいます』だからです」

9 章 10-13 節 「それだけではありません。一人の人によって身ごもつたりベカの場合もそうです、その人とは私たちの父、イサクです。

その子どもたちがまだ生まれもせず、善も悪も行うその前に、選びによる神の計画が生かされるために、行い(働き)によってではなく、召して下さる方によるように、『兄(大きい者)が弟(劣った者)に仕える』と彼女に告げられました。それは、『ヤコブをわたしは愛した。しかし、エサウを憎んだ』と書かれているとおりです」

9 章 14-16 節 「それでは何を私たちは言いましょうか、神には不正があるとでも、決してそうではありません。神はモーセに、『あわれもうと思う者をわたしはあわれんでゆく(未来形)。いつくもうと思う者をわたしはいつくしんでゆく(未来形)』と言われたからです。ですから、これは人の願い(望み)や努力によるものではありません。そうではなく、あわれんで下さる神によるのです」

9 章 17, 18 節 「聖書はファラオにこう言っています。『このことのために、わたしはあなたを立てておいた。それは、あなたのうちにわたしの力(デュナミス)を現わすためである。そうして、わたしの名を全地に告げ知らせるためである』と。ですから、神は

ご自身の望まれる(みこころの)ままにあわれみ、また、ご自身が望まれる(みこころの)ままに頑(かたく)なにされるのです」

<引用聖句>

(使徒 13:46)「神のことばは、まずあなたがたに語られなければなりませんでした。しかし、あなたがたはそれを拒んで、自分自身を永遠のいのちにふさわしくない者にしています。ですから、見なさい、私たちはこれから異邦人たちの方に向かいます」

(出エジプト 32:32) モーセが主(ヤハウェ)に祈ったことば「今、もしあなたが彼らの罪を赦して下さるなら一一。しかし、もし、かなわないなら、どうかあなたがお書きになった書物からわたしの名を消し去ってください」

(ローマ 8:15) 異邦人を含むクリスチャンに向けて、「あなたがたは…息子とされる(の立場を与える)霊を受けたのです(you received the spirit of sonship)」

(出エジプト 19:5,6) 律法授与の目的「今、もしあなたがたが確かにわたしの声に聞き従い、わたしの契約を守るなら、あなたがたはあらゆる民族の中にあつて、わたしの宝となる…あなたがたは、わたしにとって祭司の王国、聖なる国民(くにたみ)となる」

(マラキ 1:2, 3)「わたしはヤコブを愛した、しかし、エサウをわたしは憎んだ。彼(エサウ)山を荒れ果てた地とし、彼の相続地を荒野のジャッカルのものとした」

(出エジプト 33:13,15) モーセ:「どうか、あなたの道を教えてください…もしあなたのご臨在がともに行かないなら、私たちをここから導き上らないでください」主:「あなたの言ったそのことも、わたしはしよう」(17 節)。モーセ:「どうか、あなたの栄光を私に見せてください」(18 節) 主:「わたし自身、わたしのあらゆる良きものをあなたの前に通らせ、主(ヤハウェ)の名であなたの前に宣言する。わたしは恵もうと思う者を恵んでゆく、またあわれもうと思う者をあわれんでゆく」(19 節)「あなたはわたしの顔を見ることはできない。人はわたしを見て、なお生きていることはできないからである」(20 節)

(出エジ 9:17) 主はファラオに「あなたはなお、わたしの民に向かっておごり高ぶり、彼らを去らせようとしなさい」(出エジ 9:12)「主(ヤハウェ)はファラオの心を頑なにされたので、ファラオは二人(モーセとアロン)の言うことを聞き入れなかった」(出エジ 4:21)主(ヤハウェ)はモーセに「わたしが彼(ファラオ)の心を頑なにするので、彼は民を去らせない」と言われた。「主がファラオの心を頑なにされた」との表現(10:20,27,11:10)。「ファラオの心は頑なになり」「ファラオは心を頑なにし」との表現(7:13,22,8:19,9:35)

(箴言 21:1, 2)「王の心は、主(ヤハウェ)の手にあつて水の流れのよう。主はみこころのままに、その向きを変えられる。人には自分の歩みがみなまっすぐに見える。しかし、主は人の心进行评估される」